

まちのニュース カメラアイ ～地域の問題をお届けします～

4/22
(水)～



例年より10日ほど早く

パークゴルフ場がオープンしました。

4月22日に三笠山自然公園コース、4月28日に運動広場コースがオープンし、22日の初日は天候にも恵まれ、シーズンの始まりを心待ちにしていた多くの愛好者で賑わいました。

パークゴルフ場は10月まで利用できますので、多くのご利用をお待ちしています。

4/18
(土)



英語を楽しく学ぼう

小学生約60名が集まり、第1回ジュニアイングリッシュ講座が開催されました。

国際交流員のリェーン・ジーン・スーチャーさん（台湾生まれニュージーランド育ち。東神楽町在住）を講師に、ニュージーランドの名所や動物などをテレビ画面を使って紹介し、簡単なあいさつやフォトフレームづくりをとおして楽しく英語を学びました。

この講座は、毎月第3土曜日の午前中に開催していきます。

4/28
(火)



いつまでも学ぶ姿勢を

恵み野ホールで三笠山大学入学式がおこなわれ、2名の方が入学を許可されると共に、7名の方が大学院へ登録されました。

入学式終了後、第1回目の講義として奥山町長から「平成27年町政の動き」について説明を受け、学生たちは熱心に聞き入り、最後に要望や意見を町長に伝えるなど、それぞれに実りのある講義となりました。

三笠山大学は、月1回のペースで開講され、講座やスポーツなどを通して学びの場として活動していきます。

4/27
(月)



交通ルールを守りましょう

和寒小学校で全校児童を対象に交通安全教室がおこなわれました。

1～2年生は歩行指導がおこなわれ、町内にある信号歩道で元気良く手を挙げ、道路を安全に渡りました。3～6年生は自転車実地指導がおこなわれ、自転車の安全な速さや歩道での乗車の仕方を改めて学ぶことができました。

和寒駐在所藤村巡査長と交通安全協会会長真鍋紘一さんによる「交通安全のお話」では、全校児童が真剣に講話に聞き入り、交通安全に対する意識を高めました。

4/29
(水)



1 番人気はゴーカート

三笠山自然公園の「こどもの国」がオープンし、約1,500人の家族連れで賑わいました。

この日は、初日限定の500円乗り放題チケットが販売されたほか、4月21日に全国販売が始まった和寒産カボチャのタルト菓子「ペポたると」が来園者に配布され、鳴呼ワットサムのマスコットキャラクター「かたたん」も登場し、訪れた子どもたちを出迎えました。

こどもの国は、10月12日まで、夏休み期間中と土日祝日に開園しています。



4/29
(水)



4/19
(日)

キレイなまちに

町民約170人が集まり、市街地区で全町一斉清掃活動がおこなわれました。

また、鳴呼ワットサムのメンバーが4月19日に恵み野ホール周辺のゴミ拾いをおこない、今年もゴミのないキレイな春が訪れました。



5/1
(金)~

北原交流展示館に行ってみよう

町民や、和寒にゆかりのある方が制作した絵画、書道、陶芸、木彫、水墨画、写真、押し花絵、押し絵、パッチワーク、スタンドグラス等さまざまな作品を展示しています。

小学生の作品展等の特別展の開催も予定していますので、ぜひご来館ください。

■開館時間 午前10時～午後4時

■休館日 月・火曜日

(祝日の場合は開館し、翌平日が休館となります。)

4/30
(木)



学習を習慣に

小学生の学習習慣の定着と学力の向上をめざし、ステップアップ教室がスタートしました。

教室は、教育委員会から教育アドバイザーを派遣し、小学校で毎週木曜日の放課後に開催され、約70名の児童が登録しています。

第1回目のこの日は主に算数のプリント学習をおこない、仲間同士相談しあいながら積極的に取り組んでいました。



5/9
(土)

土曜日を有意義に過ごそう

小学生の学力や体力の向上を目的に、ドリル学習、読書やスポーツ、レクリエーション活動など、充実した学習機会を提供する「わっとさむドキドキクラブ」の今年度の活動がスタートしました。第1回目はこの1年間の様々な活動を通して、1年後にどの程度体力の向上が見られるかを測るために体力測定をおこない、参加した児童は息を切らしながら「楽しかった!」と活発に取り組んでいました。



5/8
(金)

早すぎた桜～花より団子～

第30回三笠山夜桜まつりがふれあいのもりで開催され、約800人が和寒ジンギスカンやお酒を楽しみました。

ステージでは地元アマチュアバンドの演奏や、全国の桜祭り会場でライブをおこなっている歌手のJUNさんによるステージショー、飛び入りカラオケ大会、大抽選会がおこなわれ、散ってしまった桜の代わりに特別に用意された桜色のイルミネーションとともに会場を彩りました。



5/15
(金)

小さな命を守るために

子育て支援センター「こども館」にて、未就園児の子育て中のお母さんを対象に「小児救命救急講座」が、おこなわれました。

消防職員が講師となり、小児の人工呼吸・心臓マッサージ法、AEDの使い方などを、実寸大の小児の人形を用いて実演し、参加されたお母さんたちは真剣に取り組んでいました。実際に起きた事例に基づき、具体的な「熱性けいれん」などの対処の仕方なども学びました。



5/11
(月)

交通事故死ゼロを願って

和寒町は平成26年4月17日に交通事故ゼロ1000日を達成し、現在まで記録を更新し続けています。

この日は、交通安全協会や和寒ライオンズクラブなどの会員約40名が交流施設ひだまりに集まり、国道40号線沿いで黄色い旗をなびかせながらドライバーに安全運転を呼びかけていました。



5/17
(日)

ようこそ和寒へ

農村生活体験実習の卒業生が中心となって発足した「ようこそ和寒の会」が、移住者や新就業者の交流を深めようと、カヌー体験やバーベキュー交流会を開催しました。

当日はあいにくの曇り空でしたが、約20名の参加者が交流を深めました。

主催した会の代表 上野彩さんは、「今後も様々な企画を実施して、和寒町に来た人たちが仲良くなってほしい」と話していました。



5/16
(土)

和の心を1日体験

茶室片栗庵で「かたくり庵のつどい」が開催されました。

前夜の雨のため片栗庵内での開催となりましたが、100名をこえる多くの町民の皆さんが落ち着いた雰囲気の中で日本庭園を眺めながらお茶会を楽しみました。

また、短歌教室やわっとさむドキドキクラブの児童たちの茶道体験もおこなわれ、楽しいひと時をすごしました。

にれっこ祝金増額第1号



平成27年4月からこれまでの2万円を10万円に増額した「にれっこ祝金」（出産祝金）が、4月13日に初めて手渡されました。

この日、出生届の提出に役場を訪れた、関 海理(かいり)くんのお父さん 敦志さん（三笠）は、恥ずかしがりながらも嬉しそうに奥山町長から祝金を受け取りました。

消防団協力事業所表示制度

平成27年4月スタート
消防団員が勤務する事業所等で、消防団活動に参加しやすいよう配慮している事業所を消防団協力事業所として認定し、「表示証」を交付するものです。

認定の基準

- ①従業員が消防団員として、1名以上入団しており、当該従業員の就業時間中における消防団活動について積極的に配慮している事業所等
- ②災害時に資器材等を消防団に提供するなどの協力をしている事業所等
- ③その他消防団活動に協力することにより、地域の消防防災力の充実強化に寄与しているなど、管理者が特に優良と認める事業所等

申請の方法

消防和寒支署に申請書を用意していますので、必要事項を記入して提出してください。



(表示証)

■お問い合わせ：消防和寒支署 TEL 32-2119